



ドリーム・パワー

Dream Power

ジョン・レノンスーパーライブ

世界の子どもたちに学校を贈ろう!

17

ニューヨークの ジョン①

ストロベリー・フィールズ

今年、毎小の夏ツアーはアメリカ・ニューヨークだそうですね。ニューヨークはジョンが愛し、40歳で亡くなるまで過ごした街でもあります。ジョンはイギリス人ですが、世界の中心といわれたニューヨークで活動することを望みました。ニューヨークに「自由の女神が招いてくれた」とジョンは言っています。

ジョンが住んでいたダコタハウスには、今もオノ・ヨーコさんが住んでいます。ダコタハウスは、1884年に建てられました。日本では明治17年です。映画のロケ地としても有名で「ローズマリーの赤ちゃん」や「バナラ・スカイ」といった映画に登場する建物です。

ジョンはダコタハウスで作曲したり、家族と過ごしたり、ニューヨークでの日々を送ります。ジョンが住んだダコタハウスの部屋か

らは、大きな公園が一望できますが、これがセントラルパークです。ジョンはこの公園をヨーコさんと散歩するのが大好きだったそうです。

セントラルパークには、そんなジョンの思い出を刻んだ「ストロベリー・フィールズ」というメモリアルパークがあります。ジョンの曲「ストロベリー・フィールズ・フォーエバー」にちなんだ名前です。地面には円形の記念碑もあり、その真ん中には「IMAGINE」と書かれています。

毎年、ジョンの命日の12月8日は世界中のファンがジョンをしる所でここに集まります。普通の日でも、必ず誰かファンが来ていたり、お花が供えられています。みなさんもニューヨークに行くことがあったら、ぜひ寄ってみてくださいね。

(ドリーム・パワー ジョン・レノン音楽祭事務局・浜田哲朗、写真も)

■セントラルパークの「ストロベリー・フィールズ」にある「IMAGINE」の碑。8月23～29日に開催する毎小主催の平和学習ツアー「9.11の現場で平和を考える」では、7月28日にヨーコさんと一緒に広島から発信する平和への希望のメッセージを引き継ぎ、ニューヨークからも発信します

平和学習ツアー「9.11の現場で平和を考える」の詳細は毎小のホームページに掲載しています